



160

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり4本

2023年5月28日号

編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部



池上彰の

聞いていいですか？

有森裕子さんが考える

東京五輪の違和感

28日(日)＝1、3面

2021年夏に開催された東京オリンピック・パラリンピックには、すっきりしない問題がいまだにつきまっています。新型コロナウイルスの影響だけではなく、当初公表していた金額よりも大会運営費は膨らみ、汚

職事件も摘発されました。

元女子マラソン選手で五輪メダリストの有森裕子さん＝写真＝も東京五輪について疑問を抱く一人です。有森さんは、東京開催が決まった瞬間、東日本大震災が頭に浮かんだと

明かしました。また、有森さんは知的障害者にスポーツの機会を提供し、社会参加を応援する活動にも長年携わっています。そこで改めて感じたスポーツの魅力などについて語ります。



新連載「皇室スケッチ」

6月2日(金)＝総合面

5年目を迎えた令和の皇室の活動や、皇室行事の背景などを担当記者が紹介する「皇室スケッチ」が始まります(毎週金曜日朝刊)。初回は5月11日に4年半ぶりに実施された園遊会を取り上げます。

あいにくの雨で傘を

差しながらの開催になりましたが、そうした場面だからこそ見えた皇族方の姿がありました。天皇、皇后両陛下と招待者とのやり取りを交えながら、当日の様子をお伝えします。



園遊会に臨まれる天皇、皇后両陛下や皇族方＝東京都港区の赤坂御苑で2023年5月11日、猪飼健史撮影



新連載「囲碁・将棋UP TO DATE」

6月1日(木)＝総合面

囲碁界と将棋界の「いま」を担当記者たちがリポートする新企画が始まります(毎週木曜日朝刊)。1回目は、囲碁の歴史で数々の偉業を打ち立ててきた二十五世本因坊治

勲(66) 趙治勲九段 写真
前のインタビューです。2年前に引退を意図するスランプに陥りましたが、今年はタイトルを獲得するまでに復調しました。レジェンドが改めて囲碁への熱い思いを語ります。

特集ワイド

胸ざわつく「タワマン文学」

29日(月)＝夕刊特集ワイド



豊洲のタワーマンション群＝東京都江東区で

タワーマンションを舞台に、格差や嫉妬を描く「タワマン文学」が注目されています。ツイッターに投稿した小説が書籍化され、ブームに火を付けた麻布競馬場さん、外山薫さん

が取材に応じてくれました。2人はいずれも地方都市出身で30代の会社員。「タワマン文学」には、普段は口に出せないところを突くものが多い」。人気の背景を語ってくれます。

竹橋の窓ざわい

編集後記



オウム真理教を最初に報じたことで知られるサンデー毎日は1922(大正11)年創刊の最も古い新聞社系総合週刊誌です。現在、サンデー毎日を3カ月以上ご購入すると、もれなくAmazonギフトカード500円分がプレゼントされるキャンペーンを6月30日まで実施中。週刊誌ならではの記事を週お楽しみください。お申し込みはQRからどうぞ。(石原聖)

